

これからの社会が求める人材・必要とされる力、起業の経験から

東京都立小金井北高等学校1年生講演資料



2018年2月28日(水)

13:40~14:30

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : これからの社会はどのような社会だとお考えですか。そこで求められる能力は何だとお考えですか。

- A : (1) 「知識が基盤となった社会 (知識基盤社会)」
- ・「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」
- (2) 「グローバル社会」
- ・「多様な集団で交流する能力」
- (3) 「課題山積社会」
- ① 「課題発見能力」
  - ② 「原因推定能力」
  - ③ 「課題解決能力」
- ・「自律的に活動する能力」



Q 2 : これらの能力の前提となるのは何ですか。

- A : (1) ① 「自覚をもって学ぶ」
- ② 「主体的に学ぶ力」
  - ③ 「学び方を学ぶ」
- (2) 「読書による思慮深さ」
- ① これぞという本は、ゆっくり 6 回読む。
  - ② 各教科、各分野の古典をじっくり読む。
    - ・「時空を超えた対話」を
  - ③ 「書き抜き読書ノート」を作る。
- (3) 「新聞を読んで考える」
- ① 「批判的思考能力 (クリティカル・シンキング)」
  - ② 「課題探求型授業」には、新聞が役に立つ。
  - ③ 「スクラップブック」を作る。
- (4) 「語彙力」
- ① よくわからないことばは、辞書で調べる。
  - ② 調べたことは、ノートやカードに書き写す。
  - ③ ノートやカードは、1 ページ目から読み直す。
    - ・「語彙は力、ことばは力」

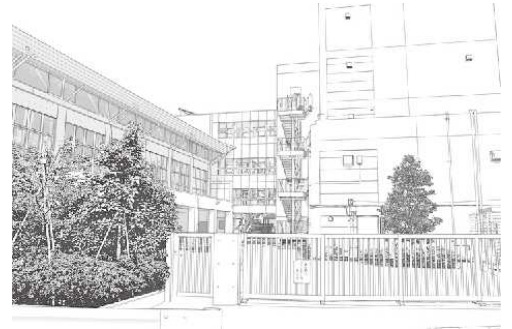


Q 3 : 学力、能力を身に着ける目的は何ですか。

- A : (1) 「多様な選択肢のある人生を歩む」こと。  
(2) 「正常に機能する社会、持続可能な社会の形成に貢献する」こと。  
(3) 「よく生きる」こと。

Q 4 : 高校での勉強は役に立つのですか。

- A : すべて役に立ちます。
- (1) 大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院など  
高等教育機関での教育や研究にすべて役に立ちます。
- (2) 仕事や社会的活動にすべて役に立ちます。
- (3) よく生きるために、すべて役に立ちます。
- ・すべて役に立ちますので、高校の教科書や教材、辞書、ノートなどは絶対に処分せず、一生大切に保管し、繰り返し学び直すこと。



Q 5 : 高校時代に身に着けたほうがよいことは何ですか。

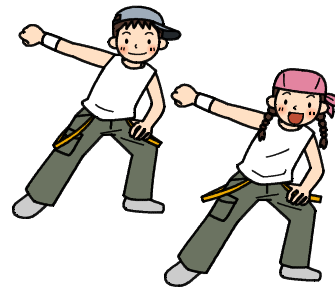
- A : (1) 勉強の仕方  
(2) 図書館の利用の仕方  
(3) ノートの取り方、活用の仕方  
(4) 「5S」(ごえす)  
①「整理 (seiri)」 いらぬものは捨てる  
②「清掃 (seisou)」 きれいに掃除をする  
③「整頓 (seiton)」 ものと同じ場所に置く  
④「清潔 (seiketsu)」 ①～③を継続する  
⑤「躰 (shitsuke)」 自分から進んで行く  
(5) 別の意味の「躰」も身に着けよう。  
①「美しい立ち居振る舞い」  
②「美しいことば遣い」(敬語表現を含むことば遣い)  
・高校生は美しく生きよう。



Q 6 : 最後に、好きなことばを紹介してください。

A : (1) 「スポーツの3つの宝」

- ① 「練習は不可能を可能にする」
- ② 「フェアプレイ」
- ③ 「よき友」



(2) 「離見の見 (りけんのけん)」

- ・ 舞台上で踊っている自分を、離れた観客席に座っている自分が見る。

(3) ① 「教育ある人とは、一生学び続ける人」

- ② 「一生勉強、一生青春」
- ③ 「健康第一、心の健康・からだの健康」



以上

ご清聴を感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想があれば、ご自由にご発言ください。



#### 講師プロフィール

- ・ 学校法人有朋学園有朋高等学院理事長(福島市)
- ・ 宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
- ・ マニー株式会社(手術用縫合針製造、東証一部) 社外取締役(2004 ~ 2010年)  
本社: 宇都宮市、現地法人: ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン
- ・ 社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事(足利市)
- ・ 公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員